

# 4 単元構造図 1 年生 「話題や方向を捉えて話し合おう」(全 6 時間)

## 【第 1 学年「思考力、判断力、表現力等」の目標】

筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにする事ができるようにすること。

## 【単元を貫く課題】

限られた時間の中で全員が納得できる解決に導くためにはどのように話し合えばよいのだろうか。

## 【子供の実態】

中学校 1 学年までに司会や提案者などの役割を立てて話し合うことや、目的に向かって、立場を明確にして、互いの考えの共通点や相違点を考えながら計画的に話し合う経験をしてきている。本単元を学習するにあたって、小集団で互いの意見を出し合うことはできるが、それぞれの考えをまとめていくことに弱さが見られる。報告するという目的のもと終結を意識した話し合いができるように、適切な質問や助言を行えるようにしたい。

## 【身に付けてきた本単元に関わる力】

**小学校：**相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。

**第 1 学年：**話の中心的部分と付加的な部分などの関係などに注意して、話の構成を考える力

## 【単元を貫く言語活動】

グループ・ディスカッションという話し合いの形態を用いて、合意形成に向けて話し合う。

## 【本単元の「つきたい力」】(◎重点指導事項)

### ◎合意形成に向けて話し合う力 (A-オ)

話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる力。

### ○話し合いを深める聞く力 (A-エ)

必要に応じて記録したり、質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめる力。

### ○分かりやすく伝える話す力 (A-イ)

自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考える力。

## ■合意形成に向けての「話し合うこと」について考え、実践する (A-オ)

### 【ねらい】

限られた時間の話し合いで何らかの方向を出すためには、話し合いの展開に応じて自分の発言と相手の発言を結び付けながら考えをまとめることが必要なことを理解して実践することができる。

### 【評価規準】

議題に対し、異なる立場で述べられる仲間の意見から、共通する話題を見出し自分の意見とつなげながら話し合いを進めることができる。

## ■話し合う基盤となる「話すこと」について考え、実践する (A-イ)

### 【ねらい】

限られた時間の中で自分の考えを相手に理解させるには、意見の根拠となる具体的な事実を話すことが必要なことを理解し、実践することができる。

### 【評価規準】

意見を裏付けるための根拠として具体例を挙げながら話すことができる。

## ■「話し合うこと」の目的と必然をもつ (A-ア)

### 【ねらい】

前期の生活を振り返る中で、改善したいことを出し合い、「グループ・ディスカッション」の形式について理解することができる。

### 【評価規準】

小集団でそれぞれが役割をもち、限られた時間の中で話し合うという、グループ・ディスカッションの特質を理解している。

## 【5つの言語意識の明確化】

### 【目的】

後期の日常生活をよりよくするために、前期の生活を振り返り、改善点について話し合う。

### 【相手】

学級の仲間

### 【方法】

グループ・ディスカッション

### 【場面・状況】

4人～5人の小集団で意見を出し合い、合意形成に向けて話し合う。

### 【評価】

話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。

## 【単元の出口における子供の意識】

この単元で話し合ったことを実際に後期の生活で生かしていきたい。今回学んだグループ・ディスカッションはみんなで意見を出し合ったり、考えをまとめたりするのに有効だと思う。学級活動や総合的な学習の時間などで何かを決める時などに活用していきたい。

## 【今後身に付けていく、本単元に関わる力】

### 中学校第 2 学年

論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる力 (A-エ)

互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる力 (A-オ)

## ■学んだことを日常生活に結び付ける (A-オ)

### 第 6 時

### 【ねらい】

これまでのグループ・ディスカッションを振り返り、「後期に大切にしたいこと」の話し合いを通して、後期の生活への意欲や話し合いの仕方について自分の考えをもつことができる。

### 【評価規準】

これまでのグループ・ディスカッションを振り返り、「後期の生活で大切にしていきたいこと」の話し合いを通して、後期への意欲や話し合いの仕方について自分の考えをもつことができている。

## ■話し合う基盤となる「聞くこと」について考え、実践する (A-エ)

### 第 4 時 (本時)

### 【ねらい】

報告会に向けて複数の案をまとめるためには、話し合いの終結を意識した質問を理解して実践することができる。

### 【評価規準】

報告会で報告する、方法や利点、問題点に着目して質問をすることができている。

## 【導入時における子供の意識】

前期の課題や改善点をみんなで話し合うことで、後期の日常生活の在り方を共通理解したい。さらに、全員で取り組めるような具体的な案を出し合うことで改善の方向を明らかにし、この授業の中で決めたことを実際に取り組んでいきたい。